

あなたもチャレンジしてみませんか?

海外青年協力隊・ シニア海外ボランティア募集中!

募集に関する詳細・資料請求は
独立行政法人 国際協力機構 大阪国際センター
JICA大阪 ☎072-641-6904

募集締切
11月7日(月)

JICAボランティア

検索

青年海外協力隊 活動報告

田中 裕子 さん

2009年1月から2010年12月まで、西アフリカのガーナ共和国に行ってきました。ガーナと言えば…!?チョコレートの原料になるカカオで有名です。カカオは種を乾燥させてチョコレートの原料に使用しますが、生の種の周りは爽やかな甘い味で、これも美味しいです。



私は、郡の保健局にエイズ対策隊員として派遣されました。主な活動は、HIVとエイズの予防啓発活動です。興味や学習の意欲が湧くように、クイズやサッカー大会、時にはガーナの伝統的なダンスを取り入れて啓発を行いました。子ども達が演じるダンスの物語は迫力満点です。



また、HIV陽性者を支える団体の収入向上に向け、現地のNGOの力を借りて石けん作りのワークショップを行いました。

HIVに感染し体調が悪かったりすると、現金収入を得る方法が限られてきます。そこで、ガーナでたくさん採れるパームオイルを使用した石けん作りを行うことにしました。石けんは、現地で需要の高い製品の一つでもあります。団体のメンバーとともに石けんの作り方を学び、自分たちで販売するところまでサポートしました。文字が書けない、字が読めない、計算が苦手であ

るメンバーと石けん作りのプロセスを歩むのは容易ではありませんでした。しかし、自分たちで作った石けんが全て売れたことを、私に報告してくれた顔は、とてもうれしそうで、今までで一番良い顔をしていました。結果はすぐに見えるものではないかもしれませんが、無理だとあきらめずに挑戦する姿勢が、とても大切なことではないだろうかと私に気づかせてくれました。

その他にも、乳幼児健診や小学校での歯科衛生教育を行いました。ガーナの公立小中学校は基本的に給食制度がありません。そのため、お弁当を持ってきていない子どもは、休み時間にビスケットやバナナを買って食べたりします。歯みがきが習慣化されていず、虫歯を持っている子もいました。そこで、虫歯と歯みがきの大切さについて楽しく学んでもらいたいと思い、長浜市の歯医者さんの協力を得て、大きな歯の模型を使用した歯みがき教室を行いました。結果は大成功で、子どもたちは楽しそうに学びました。



ガーナの女性は両手を合わせて右の膝を少し曲げながら挨拶します。知らず知らずに身につけてしまった礼儀作法を日本でしてしまった時、「可愛い挨拶だね!」と褒めてもらいました。ガーナの生活がもたらした影響はたくさんありますが、何と言っても“水”でしょうか? 毎日ほぼバケツ一杯の水で生活(食事・洗濯・シャワー)していたので、帰国してからも以前と比べて水を使わなくなった気がします。3か月程断水した時はどうなるかと心配しましたが、近所の人々が温かく助けてくれました。みんなで協力し、工夫する。そして何とかなる! 粘り強く待つことを学びました。異文化体験は、自分の知らない世界をたくさん気づかせてくれます。

田中裕子 20.Sep 2011